

文英堂『言語文化』（言文710）年間指導計画（シラバス）案

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
つな がる 言 葉	1	中西進「ふたつの月」 ●「嘘」のおもしろさを理解する。 ●「虚」が「偽らざる心の映像」であることを理解して、文学における「虚」「嘘」の機能を理解する。	○ 作者の見た月、「甲州三坂水面」「猿猴月を捉ふ」から事実と嘘の違いを整理する。 ○ 「嘘」のおもしろさを作者の考えに則して理解する。 ◎ 「文学」と「虚」「嘘」と関係について考える。	【知】「嘘」「虚」が果たす文学における役割を理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ] 【思】「嘘」「虚」のおもしろさについて、自分の考えを持つ。 [B(1)ア・イ・ウ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
古文編					
1 古 典 に 親 し む	1	『竹取物語』なよ竹のかぐや姫 ● 平易な文体の古文を読んで、古文の世界に親しもう。 ● 古文と現代文の違い・仮名遣いの違いを理解しよう。	○ 『竹取物語』の作品の特徴について知識を整理する。 ◎ 作品の解釈を深め、自分の考えを持ち、他者と話し合う。	【知】『竹取物語』の概要について理解している。 [(1)ア・オ(2)イ] 【思】作品の解釈を深め、自分の考えを持っている。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『宇治拾遺物語』児のそら寝 ● 登場人物の動きや心理、内容のおもしろさを読み取る。 ● 品詞・活用について理解する。	○ 登場人物と出来事を把握する。 ◎ 僧たちが笑った理由を話し合い、意見交換をおこなう。	【思】作中人物と出来事を把握している。 [B(1)ア] 【思】僧たちが笑った理由を話し合い、意見交換している。 [B(1)オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	1	『宇治拾遺物語』絵仏師良秀 ● 用言について理解する。 ● 登場人物の動きや心理、内容のおもしろさを読み取る。	○ 動詞・形容詞・形容動詞について学習する。 ○ 出来事に沿って登場人物の言動を整理する。 ◎ 良秀の行動について考え、グループで話し合う。	【知】動詞・形容詞・形容動詞について理解している。 [(2)ウ] 【思】出来事に沿って作中人物の言動を把握している。 [B(1)ア] 【思】良秀の行動について考え、意見交換している。 [B(1)オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	5	芥川龍之介「羅生門」 ● 登場人物の動きや心理、内容のおもしろさを読み取る。 ● 「羅生門」と、もともなかったとされる説話を読み比べ、共通点や相違点を探ってみる。	○ 「羅生門」の成立背景、文学史的意義について把握する。 ○ 登場人物と出来事を整理する。 ◎ 「羅生門」と「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の話」を読み比べ、違いや類似点を挙げる。	【知】「羅生門」の成立背景、文学史的意義について把握している。 [(2)イ] 【思】登場人物と出来事を整理する。 [B(1)ア] 【思】「羅生門」と「羅城門の上層に登りて死人を見る盗人の話」を読み比べ、違いや類似点を把握している。 [B(1)エ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
2 もの の 見 方 を と ら え る	4	『徒然草』つれづれなるままに・ある人、弓射ることを習ふに・高名の木登り・花は盛りに ●『徒然草』についての基礎知識を持つ。 ●執筆行為にかかわる作者の経験を読み取り、自分の経験と結びつける。 ●教訓の内容を読み取り、二章段を整理して、評価する。 ●作者の嗜好を読み取り、自分に結びつけて考える。	○『徒然草』の作品についての知識を整理する。 ○執筆行為にかかわる作者の経験を読み取る。 ○教訓の内容を読み取り、二章段を整理する。 ○作者の嗜好を読み取る。 ◎執筆行為にかかわる作者の経験を自分の経験と結びつけて話し合う。 ◎教訓の内容を評価しあう。 ◎読み取った作者の嗜好を自分に結びつけて考えたことを話し合う。	【知】『徒然草』の作者と成立、読み取りに必要な語彙・文法事項について理解している。 [(1)ア・ウ (2)イ・ウ・オ] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	宮澤賢治「ざしき童子のはなし」 ●宮澤賢治について把握する。 ●「ざしき童子のはなし」の内容や構成について理解する。 ●「ざしき童子のはなし」と『遠野物語』を比較しながら読み、内容の理解を深める。	○宮澤賢治について学ぶ。 ○「ざしき童子のはなし」の各話の内容を読み取り、話の構成について考える。 ◎「ざしき童子のはなし」と『遠野物語』から、「ざしき童子」の特徴をまとめる。	【知】「ざしき童子」の伝承と文化的背景を理解している。 [(1)ア・イ・ウ・エ・オ] 【思】「ざしき童子のはなし」の内容と構成を理解している。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
3 変 化 を 読 み 取 る	3	『伊勢物語』芥川・東下り・筒井筒 ●『伊勢物語』についての基礎知識をもつ。 ●歌物語としての特徴を理解し、和歌の働きを学ぶ。 ●登場人物の心情を読み取り、理解する。	○『伊勢物語』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○歌物語について理解し、和歌を解釈する。 ○登場人物の言動と心情を読み取り、作品の展開を理解する。 ◎和歌の解釈や登場人物の言動についての見解を話し合う。	【知】『伊勢物語』の内容と作者について理解している。 [(1)ア・ウ・エ・オ(2)ア・イ・ウ] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [B(1)ア・イ・ウ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	言語活動「『かきつばた』で折句の歌を作ってみよう。」 ●折句の技法を理解し、折句の歌を作る。	○折句の技法を理解する。 ◎折句の歌を作り、発表する。	【知】折句の技法を理解している。 [(1)ア・ウ(2)イ] 【思】自分の和歌を作り、表現できている。 [B(2)イ]	行動観察 記述の確認

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
	3	『土佐日記』門出・忘れ貝・帰京 ●『土佐日記』について、基礎知識をもち、文学史的な意義を理解する。 ● 諧謔や比喻などの表現を正しく把握し、文章にこめられた真意を理解する。 ● 登場人物や語り手の心情を読み取り、理解する。	○『土佐日記』の特色についての知識を整理する。 ○ 比喻や諧謔表現をふまえ、文章を読み取る。 ○ 冒頭と末尾の対応関係を読み解き、作品の一貫性や文学性を理解する。 ◎ 比喻や、特徴的な歌の言葉（「忘れ貝」など）が、どのような効果をもたらしているか、話し合う。	【知】『土佐日記』の内容と作者について理解している。 [(1)ア・ウ・エ・オ(2)ア・イ・ウ] 【知】掛詞や諧謔表現について理解している。 [(1)ア・ウ・エ・オ(2)ア・ウ] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [B(1)ア・イ・ウ]	行動観察 記述の確認 定期考査
4 言語 感覚 を 磨 く	4	『枕草子』春はあけぼの・鳥は・雪のいと高う降りたるを ●『枕草子』についての基礎知識をもつ。 ●『枕草子』の特徴的な表現を理解し、巧みな描写を学ぶ。 ● 作者の自然や人事に対する感じ方を読み取り、理解する。	○『枕草子』の基礎的な知識（作者と作者が仕えた中宮定子について・成立年代など）を整理する。 ○『枕草子』に特徴的な語句や表現技法を見つけ出し、理解する。 ○ 作者の自然や人事に対する感じ方を読みとれる部分を指摘し、その内容を理解する。 ◎ 作者の斬新な感性を表現する言語能力について話し合う。	【知】『枕草子』の作者と成立年代について理解している。 [(1)ア・ウ・オ(2)ア・イ・ウ] 【思】作者の考え方をもとに、自分なりの意見や感じ方を言語化（文章・発表など）できる。 [B(1)イ・ウ・エ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	言語活動「『ものづくし』で随筆を書いてみよう。」 ●『枕草子』「ものづくし」の手法で随筆を書く。	○『枕草子』の類聚的章段の特徴を理解する。 ◎ テーマに沿って随筆を書き、発表する。	【知】『枕草子』の類聚的章段の特徴を理解している。 [(1)ウ(2)イ] 【思】テーマに沿って随筆を書き、表現できている。 [A(1)ア・イ]	行動観察 記述の確認
	2	詩四編 小諸なる古城のほとり・冬が来た・一つのメルヘン・自分の感受性くらい ● 詩四編についての基礎知識を持つ。 ● 時代ごとの表現の違いに注意し、それぞれの特徴を学ぶ。 ● 詩の特徴を学び、理解を深める。	○ 詩四編の特徴について知識を整理する。 ○ 文語体に注意しながら、表現の意図をつかむ。 ○ それぞれの表現に注目しながら、詩を解釈する。 ○ 作者や時代背景に目を向け、テキストとの関わりを考える。 ◎ 詩の解釈や、表現について意見を交換する。	【知】詩四編の表現と内容について理解している。 [(1)ア・ウ・エ(2)ア・イ・ウ・エ・オ] 【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ(2)イ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
5 表現を味わう	4	『平家物語』 祇園精舎・木曾の最期 ●『平家物語』についての基礎知識をもつ。 ●軍記物語としての特徴を理解する。 ●登場人物の心情を読み取り、理解する。	○『平家物語』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○軍記物語について学び、歴史的経緯を理解する。 ○登場人物の言動を読み取り、物語の展開を理解する。 ◎登場人物の心情を読み取り、その行動について感じたことや考えたことをまとめる。	【知】『平家物語』の内容と背景について理解している。 [(1)ア・ウ・エ] 【思】表現技巧や語句の意味をふまえ、物語の展開を理解している。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
6 文化をつなぐ	4	和歌・短歌二十首 ●和歌や短歌特有の韻律について理解する。 ●各歌集や歌人、および文学史の大まかな流れを理解する。 ●修辞技法の効果について理解する。 ●和歌や短歌にこめられた心情を読み取る。 ●学習した歌を鑑賞し、解釈を深める。	○和歌・短歌を音読する。 ○各歌集や歌人の特徴について整理し、文学史の大まかな流れを理解する。 ○修辞技法についての知識を得、各歌におけるその効果について考える。 ○歌にこめられた心情を、表現に即して読み取る。 ○各ブロックのテーマを考える。 ◎学習した二十首の歌の一首についてその特色などを中心にまとめる。	【知】掛詞や縁語、序詞、本歌取り等の修辞技法の効果について理解している。 [(1)オ] 【知】各作品等の文学史的意義を理解し、和歌から短歌への大まかな流れを把握している。 [(2)イ] 【知】和歌や短歌特有のリズムを理解している。 [(2)ウ] 【思】それぞれの歌の特色を理解し、心情を読み取ることができている。 [B(1)イ] 【思】学習した歌を鑑賞し、自分自身に結びつけて考えることができている。 [B(1)オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	川端康成「かささぎ」 ●本文を通読し、語彙を確認する。 ●語り手の心情を読み取り、理解する。 ●最後の一文の意味を考える。	○作者である川端康成についての知識を整理する。 ○語り手の心情と文章の構成を理解する。 ◎「ものの名」のもつ働きについての考えを文章にまとめる。 ◎最後の一文の意味を話し合う。	【知】「かささぎ」を通読し、内容を理解している。 [(1)ウ・エ(2)エ] 【思】自分の考えをわかりやすく文章にまとめたり、相手に伝えたりすることができる。 [B(1)ア・イ・ウ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
7 生き方を考える	3	『奥の細道』旅立ち・平泉・立石寺 ●『奥の細道』についての基礎知識をもつ。 ●俳文特有の文体があることを理解する。 ●表現技巧を理解し、作者の心情を読み取る。	○『奥の細道』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○本文を音読し、俳文特有の文体を味わう。 ○内容を読み取り、作者の感慨を理解する。 ○季語・切れ字などに注意しながら、発句の内容を読み取る。 ◎作者の考え方を理解し、感じたことや考えたことをまとめる。	【知】『奥の細道』の内容と背景について理解している。 [(2)イ・ウ] 【思】俳文特有の文体や古典の引用などの表現技巧をふまえ、内容を理解している。 [B(1)ア・イ・ウ・エ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	長谷川權「芭蕉の風雅」 ●筆者の考えに沿って、『おくのほそ道』の構成と主題を読み取る。 ●芭蕉の人生観の変化を読み取る。	○『おくのほそ道』で芭蕉が見つけた「不易流行」「かるみ」という概念を理解する。 ○芭蕉の問題意識とそれに対する回答を読み取る。 ◎「不易流行」の例を、現代の私たちの生活に即して考える。	【知】漢字や言葉、『おくのほそ道』の時代背景について理解している。 [(1)イ・ウ] 【思】筆者の考えに沿って『おくのほそ道』の構成を読み取り、「不易流行」の宇宙観、「かるみ」という人生観を理解している。 [B(1)イ・ウ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	4	発句・俳句十五句 ●季語や発句・俳句の表現を理解する。 ●発句・俳句にこめられた作者の心情を読み取る。	○季語・切れ字等の発句・俳句の基本事項を整理する。 ○発句・俳句を音読し、その調べの文体を味わう。 ○発句・俳句にこめられた情景・心情を読み取る。 ◎発句・俳句について、情報を収集し、成果をまとめる。	【知】季語や発句・俳句の表現技巧について理解している。 [(2)イ・ウ] 【思】表現技巧をふまえて、発句・俳句の内容を理解している。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
	2	言語活動「季語（季題）を調べて俳句を作ってみよう。」 ●調べた季語（季題）を使って俳句をつくる。	○「歳時記」などを使って、季語（季題）を調べる。 ◎季語（季題）を選んで俳句をつくり、発表する。	【知】季語（季題）について理解している。 [(2)イ・ウ] 【思】俳句をつくり、自分の思いを的確に表現している。 [A(1)ア・イ]	行動観察 記述の確認

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
漢文編					
1 漢文に親しむ	5	<b>漢文入門 故事成語</b> ● 身近な熟語・成語・格言が、漢文からきていることを理解する。 ● 訓読の基礎知識を学ぶ。 ● 身近な成語や格言の原文等の短句によって訓点のきまりについて理解する。 ● 原典を読むことで故事成語の理解を深める。	○ 漢字・漢文・訓読の基本知識を整理する。 ○ 漢文の短句・短文を読んでみる。 ○ 「矛盾」「狐借虎威」「五十歩百歩」の各文章を繰り返し音読し、漢文の訓読に慣れる。 ◎ 「矛盾」「五十歩百歩」の成語を用いて、それぞれ短文を作って発表する。	<b>【知】</b> 故事成語の原典と使い方を理解している。 [(2)ア・エ] <b>【思】</b> 故事成語の原典と使い方について工夫した発表ができています。 [B(2)オ]	行動観察 記述の確認 定期考査
		<b>言語活動「故事成語の原典を調べて発表しよう。」</b> ● 故事成語の原典を調べて発表する。	◎ 故事成語の原典を調べて発表し合う。	<b>【知】</b> 故事成語の原典と使い方を理解している。 [(2)ア・エ] <b>【思】</b> 故事成語の原典と使い方について工夫した発表ができています。 [B(2)オ]	
2 関係を読み解く	2	<b>『十八史略』管鮑之交・鶏口牛後</b> ● 訓読の基礎知識を学ぶ。 ● 『十八史略』についての基礎知識を持つ。 ● 『十八史略』を読み、人と人、国と国との関係を読み解く。 ● 登場人物の考え方・心情を的確に捉える。 ● 故事成語の意味と使い方を理解する。	○ 『十八史略』の作品の特徴についての知識を整理する。 ○ 登場人物の言動と心情を読み取り、作品の展開を理解する。 ◎ 登場人物の言動と心情についての見解を話し合う。	<b>【知】</b> 『十八史略』の内容と作者について理解している。 [(1)ア・エ (2)ア・イ・ウ・カ] <b>【思】</b> 自分の意見を表現し、話し合っている。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
3 漢詩の世界を楽しむ	4	<b>漢詩</b> ●224ページ「漢文読解のために」を参考に、漢詩の基礎知識を持つ。 ●五言絶句・七言絶句について、その整然とした表現構成に注意し、正しく訓読して詩の持つ語調とその美しさを感じ得る。 ●「絶句」では「起承転結」の構成、特に「江南春」、「送元二使安西」に見られるような「転」句の特色に注意する。「律詩」では、「春望」に見られるような対句の美しさを味わう。 ●日本漢詩では、「謫居春雪」に見られるような中国の故事の援用、「題自画」に見られるような漢詩の引用について理解する。	○それぞれの詩の形式と押韻と対句を挙げる。 ○好きな詩を選んで音読する。 ○それぞれの詩の対句を抜き出させ、対応している語句を指摘する。 ○それぞれの詩の「転」句を抜き出させ、これにより意味内容がどのように転じられているかを考える。 ◎詩のテーマなどについて見解を話し合う。	<b>【知】</b> それぞれの漢詩の形式と内容と作者について理解している。 [(1)ア・ウ・エ・オ(2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 自分の意見を表現し、話し合っている。 [B(1)ア・イ・ウ]	行動観察 記述の確認 定期考査
4 多様な考え方を学ぶ	5	<b>『論語』（学問の道・生活と交遊・人生省察）</b> ●訓読の基礎知識を蓄積する。 ●『論語』についての基礎知識を持つ。 ●『論語』を読み、学問・人生・人間・社会に対する考え方について理解する。 ●孔子の考え方と現代のかかわりについて考える。 ●現代文教材「無用の用」を読んで、孔子以外の思想にも触れる。	○限定・抑揚・累加・比況・願望・詠嘆の句法を中心に訓読の基礎事項を蓄積する。 ○『論語』の特徴についての知識を整理する。 ○孔子の学問・人生・人間・社会に対する考え方を理解する。 ○現代文教材「無用の用」を読み、孔子以外の思想に触れる。 ◎孔子の学問・人生・人間・社会に対する考え方についての見解を話し合う。	<b>【知】</b> 『論語』の内容について理解している。 [(1)ア・イ・エ (2)ア・イ・ウ] <b>【思】</b> 自分の意見を表現し、話し合っている。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ (2)イ]	行動観察 記述の確認 定期考査

単元名	時数	教材名 ●学習目標	○学習活動 ◎言語活動	評価規準例 [指導要領との対応]	評価方法
5 未 来 を 思 い え が く	3	<p>『桃花源記』</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 陶潜と「桃花源記」の基礎知識を持つ。</li> <li>● 隠棲志向について理解する。</li> <li>● 陶潜がどのような隠棲を理想としていたのか理解する。</li> <li>● 陶潜が「桃花源記」で何を言おうとしているのか理解する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 訓読の基礎事項を学習する。</li> <li>○ 陶潜と「桃花源記」の特徴についての知識を整理する。</li> <li>○ 桃花源が作られた理由を考え、登場人物の役割に着目して作品に込められた作者の思想を理解する。</li> <li>◎ 「津を問ふ者無し。」で終えた作者の心情についてグループでディスカッションする。</li> </ul>	<p>【知】「桃花源記」の内容について理解している。 [(1)ア・エ (2)ア・イ・ウ]</p> <p>【思】自分の意見を表現し、話し合っている。 [B(1)ア・イ・ウ・エ・オ (2)イ]</p>	<p>行動観察 記述の確認 定期考査</p>